【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成29年10月19日(2017.10.19)

【公開番号】特開2016-61845(P2016-61845A)
【公開日】平成28年4月25日(2016.4.25)
【年通号数】公開・登録公報2016-025
【出願番号】特願2014-187793(P2014-187793)
【国際特許分類】
Ｇ１０Ｇ　1/02　(2006.01)
Ｇ１０Ｈ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ１０Ｇ　1/02
Ｇ１０Ｈ　1/00　１０２Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成29年9月8日(2017.9.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の鍵夫々に設けられ、当該鍵を押し上げ及び押し下げる鍵駆動部と、
楽曲データに基づいて、演奏者が或るタイミングで押鍵操作すべき複数の鍵のうちの第１鍵を押し下げるとともに、前記或るタイミングで押鍵操作すべき前記複数の鍵のうちの前記第１鍵とは異なる第２鍵を押し上げるように前記鍵駆動部を制御する制御部と、
を備えることを特徴とする電子鍵盤楽器。
【請求項２】
前記鍵が第１位置まで押し下げられたときにオンする第１の発音用スイッチと、
前記鍵が前記第１位置より浅い第２位置まで押し下げられたときにオンする位置検出用スイッチと、を備え、
前記制御部は、前記第１鍵を押し下げる際に、前記位置検出用スイッチのオンを検出したときに前記第１鍵の押し下げを停止するように前記鍵駆動部を制御することを特徴とする請求項１に記載の電子鍵盤楽器。
【請求項３】
前記制御部は、前記鍵駆動部により押し上げられた前記第２鍵が演奏者に指定された場合に、押し上げられていない鍵が演奏者に指定された場合と比べて、発音タイミングを早めるように制御することを特徴とする請求項１または２に記載の電子鍵盤楽器。
【請求項４】
前記制御部は、前記楽曲データに基づいて、右手及び左手のいずれか一方で押鍵操作すべき鍵を押し下げた場合は、いずれか他方で押鍵操作すべき鍵を押し上げるように前記鍵駆動部を制御することを特徴とする請求項１乃至３いずれかに記載の電子鍵盤楽器。
【請求項５】
複数の鍵夫々に設けられ、当該鍵を押し上げ及び押し下げる鍵駆動部を備える電子鍵盤楽器に用いられる駆動方法であって、
楽曲データに基づいて、演奏者が或るタイミングで押鍵操作すべき複数の鍵のうちの第１鍵を押し下げるとともに、前記或るタイミングで押鍵操作すべき前記複数の鍵のうちの前記第１鍵とは異なる第２鍵を押し上げるように前記鍵駆動部を制御することを特徴とす

る駆動方法。
【請求項６】
複数の鍵夫々に設けられ、当該鍵を押し上げ及び押し下げる鍵駆動部を備える電子鍵盤楽器を制御するコンピュータに、
楽曲データに基づいて、演奏者が或るタイミングで押鍵操作すべき複数の鍵のうちの第１鍵を押し下げるとともに、前記或るタイミングで押鍵操作すべき前記複数の鍵のうちの前記第１鍵とは異なる第２鍵を押し上げるように前記鍵駆動部を制御するステップを実行させることを特徴とするプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
上記目的を達成するため、本発明の一態様の電子鍵盤楽器は、
複数の鍵夫々に設けられ、当該鍵を押し上げ及び押し下げる鍵駆動部と、
楽曲データに基づいて、演奏者が或るタイミングで押鍵操作すべき複数の鍵のうちの第１鍵を押し下げるとともに、前記或るタイミングで押鍵操作すべき前記複数の鍵のうちの前記第１鍵とは異なる第２鍵を押し上げるように前記鍵駆動部を制御する制御部と、
を備えることを特徴とする。